



研究部から



～元気にあいさつ キャリアと心をみがき、未来を拓く～

本校では令和6年度より、聴覚障害教育に経験豊富な助言者の先生（村野一臣先生：元東京都立立川ろう学校長、現東京学芸大学教職大学院特命教授）から助言をいただきながら、「葛飾ろう学校で育てたい力 ～キャリアと心をみがき、未来を拓く子供を育てるために～」をテーマに、全教職員で研究を進めています。

今日は、3グループの取り組みについて紹介します。

3グループ テーマ

**楽しく充実した社会生活を送るための力を伸ばす
～感情のコントロールの視点から～**

○研究の目的

生徒は、高等部卒業後、学校のように手厚くはない社会に出ることになります。「社会に出た時に、穏やかな気持ちで生活してほしい」、「社会の一員として自分の役割を果たしてほしい」という思いから、本グループが目指す子供像を、「気持ちを安定させて自分で行動でき、社会の中で自分の役割を果たすことができる（人）」に設定し、研究を進めています。

○具体的な取り組み

各学部で、感情のコントロールの視点からどのような課題があるのか等を話し合い、学部ごとに目指す子供像（目標）を決めました。その目標達成のために、どのような支援、指導をしているのか、書式にまとめ、月に1回の研究日に話し合っています。

○今後の取り組み

支援・指導方法、使った教材等を記入した書式をまとめ、事例集を作成します。

感情のコントロールの視点から

【幼稚部】

身近な大人を支えに気持ちを切り替え、活動に参加したりやるべきことを行なったりする。

【小学部】

周りに助けを求めたり、周りからの支援を受けたりしながら解決していく。

【中学部】

イライラした時の対処方法を身に付ける。

【高等部】

他者を意識し、気持ちを安定させて生活できる。

各学部の目指す子供像※一部抜粋